

資料

本資料は、海外救急救助事情調査団（主催：（財）消防科学総合センター）の「海外の諸都市における救急業務実施体制等に関する調査報告書」の概要をとりまとめたものである。

外国の諸都市における救急業務の実施体制一覧

項 目	都市名	ケルン（西ドイツ） (1981)	ローマ（イタリア） (1982)	ロッテルダム（オランダ） (1982)
救急業務の実施主体		○ケルン市消防局 ○その他の組織 ・ドイツ赤十字社 ・マルティザー救急隊（宗教団体） ・ヨハニッター救急隊（ ） ・労働者救急同盟	○赤十字（主体）救急車25台 ○白十字（赤十字の補完） ○緑十字（ ） ○消防局（極めて軽易な患者及び大災害の時の補完） ○医療協会（軽易な患者及び転院搬送）	○ロッテルダム市保健局救急車20台（内5台は予備車） - 未熟児搬送車1台 - 災害用救急車1台 ○民間企業2社
救 急 隊 の 編 成		救急車は隊員2名、状況により医師が乗り組む。 医師搬送車は医師1名、隊員1名、運転手1名で構成 ヘリコプター救急は医師1名、隊員1名、パイロット1名で編成されている。	赤十字－3名（通常看護婦を含め3名、医師が同乗の時は4名となる） 赤十字の身分は国家公務員で 職員1000名 } で組織 看護婦1000名 } 消防局－2名（運転手及び搬送担当者）	隊員2名（看護人、運転手） ただし、新生児搬送の場合は2名の他に医師と看護婦が同乗し、4名で搬送する。 民間企業－看護人の同乗はない。
応 急 処 置 の 内 容		事故現場では、医師の管理下にある場合が多いので、医療行為の補助を行う。	応急処置（医師が同乗しない場合は、無線による医師の指示に基づく処置）	応急処置の他、救急隊員の判断によって医療行為を行う。ただし、事後に医師の判断を必要とする。
救 急 隊 員 の 資 格、 教 育 訓 練		最初に520時間の講習を受け、その後医師の行う試験に合格すれば隊員の資格が与えられる。資格取得後は5年ごとに再講習を受けなければならない。 カリキュラムの内容については委員会で基準を作成している。		看護人－病院での教育5年間（1000時間）、内1年間（200時間）は病院に勤務する。 その他、精神病患者に対する教育を必要とする。 運転人－緊急看護の免許及び50時間の教育

項目	都市名	ロンドン (英国) (1981)	パリ (フランス) (1982)	セヌ・サン・デニール (フランス) (1981)
救急業務の実施主体		○ロンドンアンビュランスサービス (L.A.S.) ○その他の組織 ・赤十字救急隊 ・消防機関の救急隊 ・陸軍の救急隊 ・開業医グループの救急隊	○パリ消防局 (軍隊が運営) ○救急医療本部 (SAMU) ○公立病院 (救急車を最低限1台常備するよう義務付けられている。) ○警察ドクターカー16台 (パリ市全域で6基地があり、首都圏に6台、首都圏以外に10台が配置されている。) - 民間救急センター	○救急医療本部 (SAMU) (県知事の所管) ○民間組織が患者搬送業務を行っている。
救急隊の編成			消防局－3名 (医師、看護婦、運転手)	救急車は医師1名、隊員1名、病院の助手又は看護婦1名で編成されている。
救急処置の内容		○隊員を訓練期間及び経験年数から段階別に分け、行うことのできる範囲を定めている。 ・一般的な応急処置を行う隊員 (初級隊員) ・輸血、輸液、出産補助程度の処置を行う隊員 (上級隊員)	応急処置及び医師の補助行為	隊員の行う応急処置は、医師の管理下で行われる。
救急隊員の資格、教育訓練		緊急事故を担当する者は、応急処置、運転技術、病院実習等を12週間受講する。その後、1年間の救急業務に従事すると国の機関である国民保健サービスの実力証明書が与えられる。 緊急事故以外を担当する者は、応急処置と運転技術を2週間受講する。 教育は大ロンドンで定めるカリキュラムにより実施されている。また、カリキュラムの基準に全国スタッフ委員会が救急問題から適切な内容を取り入れ、基準を各機関に示している。	看護婦－消防及び救急業務に関する教育を3年間受けた者	SAMU 設置病院であるモンフェルメ病院において、SAMU の医師等により、150時間の講習が行われる。カリキュラムの内容は隊員に必要な観察、応急処置等である。 この研修を修了し、試験に合格した者を隊員に任命している。 民間の救急車の隊員も同様にこの研修を終了している。

項 目	都市名	コペンハーゲン(デンマーク) (1982)	ベルン(スイス) (1981)	ウィーン(オーストリア) (1981)
救急業務の実施主体		○コペンハーゲン消防局 ○ファルク(民間組織)	○ベルン市警察局救急部	○オーストリア赤十字 ○ウィーン市救急局 ○その他の組織 ・マルティザー救急隊 (宗教団体) ・ヨハニッター救急隊 ()
救 急 隊 の 編 成		消防局－2名(重症患者の場合3名) ファルク－2名	救急車は隊員3名、患者搬送車は隊員2名で編成される。	救急車に医師の同乗が義務づけられている。
救 急 処 置 の 内 容		消防局－応急処置(事後医師に報告義務) ファルク－消防局の応急処置とはほぼ同じ。なお、無線通信又は心電図電送による医師の指示に基づく処置がある。	輸血、酸素吸入、除細動等を行うことができ、また、出産補助の訓練を受けている。	人工呼吸、副子固定、除細動等を行う。輸血や注射等を必要とする患者の場合、医師が同乗するので隊員は行わない。
救 急 隊 員 の 資 格、 教 育、訓 練		消防局－救急隊員は、所定の救急教育訓練を修了した者とし、35歳から消防業務に転属させる。教育は、基礎教育として14日間のコースを2回、その後毎年1回再教育。 ファルク－基礎、中級及び上級教育といった3段階のコースがある他、潜水等その他の特別コースもある。	医師等による1400時間の講習を終了したのち試験があり、合格した者が隊員に任命される。 カリキュラムの内容は詳細に規定されている。	最初に1か月間の医学的研修を受けたのち、6か月の実務経験期間を経て試験があり、合格した者が資格を取得する。 ボランティア隊員の研修は12時間、3日間、1か月のコースに分けて実施している。 カリキュラムの内容は、特に定めていない。

項 目 \ 都市名	ストックホルム(スウェーデン) (1982)	ニューヨーク(米国) (1980)	シカゴ(米国) (1980)
救急業務の実施主体	○ストックホルム救急局 ○ 〃 消防局 ○警 察 (ヘリ救急)	○ニューヨーク市保健病院事業団救急局 救急車126台 (実際に稼働しているのは約100台), MICU 5 台, 救急オートバイ 6 台	○シカゴ市消防局 救急車41台, MUCU 1台, 救急ヘリ2機, 救命消防艇3隻, 救急オートバイ (救急車の到着が遅れる地域に配置されている) 2台
救 急 隊 の 編 成	救急局－2名 消防局－2名 警 察－3名	人命救助の必要性が高いもの (優先Ⅰ) はパラメディック2名, 一般の場合 (優先Ⅱ) は EMT 2名で編成 総隊員数800名 (パラメディック200名, EMT 600名)	パラメディック2名で編成 (総隊員数370名)
救 急 処 置 の 内 容	医師の管理下における医療行為の補助	医療行為の判断は自分自身で決定し, 注射, 気管内挿管, カウンター・ショック等を行うが, 薬品の使用については医師の許可が必要である。	救急医療 (リソース病院の医師, 看護婦の指示により手術以外のすべての救急処置を行う。)
救 急 隊 員 の 資 格, 教 育 訓 練	基礎教育 8 週間 (448時間) 医療教育 4 週間 (224時間) 病院実務 3 週間 (168時間) 計 15週間 (840時間) これらの教育は, すべて, 市の救急局で実施される。また, 採用の際には, 病院関係に2年以上従事した者を優先する。	EMT は, 連邦運輸局の手引による81時間の訓練コースを経て, 試験により資格が与えられる。 パラメディックは, EMT として2年の経験がある者で, アインシュタイン医科大学で110時間6か月の訓練を受けて, 資格証書が授与されるが, 更に資格取得後32時間の講義と48時間の病院臨床が必要である。そして, 2年ごとに再資格試験を受けなければならない。	最初81時間 (講義71時間, 臨床実習10時間) の基本的な EMT 教育を受け EMT の資格試験を受験, 合格し, 資格取得後6か月間救急車の実務経験を終了したら, パラメディック受講申請をし, 390時間の教養 (座学, 実技, 臨床経験) を受け, 州の試験を受験, 合格後は6か月間のインターンの任務を行う。そして, リソース病院のメディカルディレクターが評価を行い州の厚生局に申請し, 州が認定する。 しかしその後も更に32時間の講義と42時間の病院臨床が必要であり, 2年ごとに再資格試験を受けなければならない。

項 目 \ 都市名	ニューオリンズ(米国) (1980)	ロサンゼルス(米国) (1980)	オ タ ワ (カナダ) (1983)
救急業務の実施体制	○ニューオリンズ市警察局 救急車15台(常時活動は5台。その他は予備車である。), 救急パトロール・カー2台	○ロサンゼルス市消防局 救急車46台 (内 MICU 型33台)	○オタワ救急サービス (オンタリオ州政府に属する。)
救 急 隊 の 編 成	パラメディックと EMT が2名1組として編成(総隊員数 80名)	パラメディック及び EMT 2名で編成(総隊員数 210名)	救急隊員 (EMCA) 2名
応 急 処 置 の 内 容	手術以外の救急処置をすべて行う。	パラメディックは、気管内挿管、心室除細動、輸液、注射、薬剤投与まで行うことができるが、すべて医師と連絡をとり、その指示による。 EMT の行う処置は、パラメディックの指示による。	心肺蘇生、けん引、副子固定、傷の手当、分娩介助等 (注射、投薬等は認められていない。)
救急隊員の資格、教育訓練	医学雑誌や新聞広告を出し有資格者に呼びかけ採用する。 全米に通用する救急隊員になるための訓練期間が1500時間必要であること、最低基準が確立されたことに伴い、600時間(授業)、500時間(病院実習)、400時間(救急車実習)に分けられ各関係大学等の学部で訓練をし、すべて医師と先輩のパラメディックが指導する。2年ごとに資格が更新される。	EMT は110時間、パラメディックは1000時間の講習を受ける。 EMT は、2年ごとに24時間の講習を受ける。 パラメディックは、8週間の医学等の講義と4週間の病院救急部での実習を経て所定の試験に合格後、さらに2か月間のパラメディックトレーニングを受け、初めて郡へ推せんされ州の認定する資格を与えられる。 そして、2年ごとに資格更新試験を受けなければならない。	救急隊員 (EMCA) は、カレッジで1年間の EMCA のコースの教育を受ける。 この中に、病院での160時間の臨床講義、救急隊員としての150時間の実習が含まれている。

項 目	都市名	トロント (カナダ) (1980)	モントリオール(カナダ) (1983)
救急業務の実施主体		○トロント市救急局 救急車120台(常時活動は66台, 日中は66台, 夜中から朝までは33台が運用), 大型救急車2台, 救急ヘリ2機	○U.Sante (ケベック州政府に属する。) ○警察機関
救 急 隊 の 編 成		救急車は, EMT 2名で編成 ヘリ救急は, パイロット2名及びパラメディック2名, 計4名で編成(総隊員数 509名)	救急車…救急隊員2名 ドクターカー…医師1名, 医療補助員1名 指揮車…監督員(supervisor)1名
応 急 処 置 の 内 容		EMT は, 応急措置を行う。	救急隊員は基本的な救命処置を行う(我が国と同様という。)
救 急 隊 員 の 資 格, 教 育 訓 練		高校を卒業し, 専門学校のコースへ進み240時間のコースを修了すると資格が与えられ, 卒業時に証明書が交付される。そして救急庁の行う採用試験と5時間の実務試験を受け合格した者が救急局の救急隊員として採用される。 専門学校でのコースを修了していないと救急隊員にはなれない。	救急隊員 約180時間(隊員の10%はさらに2000時間の教育を受けている。) 監督員 アメリカ流のパラメディック又は看護婦の資格を持つ。

(注) 都市名欄の数字は, 調査年を示す。